カスタマーハラスメントの対応
堤ヶ岡飛行場跡地の活用

横田 卓也（市民クラブ）

質問　消費者と事業者が共に尊重される社会の実現のために、倫理的な消費行動を促す啓発活動や消費者教育に取り組むべきと考えるが、本市の取り組み状況は。

答弁　本市では、出前講座の実施や消費生活センターニュースの配布により、消費者の被害防止の啓発に努めている。またカスタマーハラスメントの発生防止のため、消費者庁が公表しているチラシを市ホームページに掲載するなど、消費者に倫理的な行動を促す取り組みも行っている。引き続き積極的な啓発に努め、消費者教育を推進していく。

質問　堤ヶ岡飛行場跡地の整備を進める上での課題は。

答弁　飛行場跡地はほとんどが農地で、整備に当たり市街化区域への編入が必要である。編入手続きでは、まちづくり方針の実現性と農地を活用することへの影響が協議の中心となるが、協議に一定の時間を要すると考えており、現時点での大きな課題と認識している。

デジタル時代の学校図書館の役割

白石 隆夫（新風会）

質問　子どもの読書活動におけるバーコードを用いた図書管理システムの導入状況は。

答弁　児童・生徒が学校で読書をする際は、持参した本や学校図書館で借りた本を読んでおり、電子書籍は活用していない。

また、バーコードを用いた図書の管理システムは、現在全ての学校で導入しており、貸し出しや蔵書の管理が簡単にできるようになったため、図書の活用につながっていると考えている。

質問　調べ学習における学校図書館とタブレットの活用について、本市の状況は。

答弁　各学校では、学校図書館の学習センター機能の充実のため、調べ学習に役立つ書籍や資料の整備に努めている。児童・生徒が調べ学習をする際は、内容に応じて、学校図書館の書籍の利用や、タブレットによるインターネット上の情報の活用など、さまざまな手段を有効に活用している。

学校・園などにおけるてんかん発作への対応
国土交通省が進める水防拠点施設

新保 克佳（公明党）

質問　てんかん発作への対応として国が口腔用液ブコラム投与に関する事務連絡を出したが、本市の対応は。

答弁　令和4年7月、国が口腔用液ブコラムの投与に関する事務連絡を発出した。本市では、県を通じて周知依頼を受け、各学校等に通知し、適切な対応について周知を図った。また、養護教諭や関係する教職員が迅速に対応できるよう、校内での体制を整えている。

質問　国が水防拠点施設の整備を検討しているが、平常時の利活用について、本市の考えは。

答弁　南八幡地域で国が整備を検討している水防拠点施設の平常時の利活用については、本市が検討する部分であり、施設等を整備する場合、費用は本市の負担となる。現時点では具体的に決まっていないが、水防拠点施設の計画と並行して国と調整を行い、周辺施設の状況や同種施設の活用事例などを参考にしながら、検討を進めていきたい。

河川災害に備えて

豊岡新駅（仮称）及び豊岡経大通り線

三井 暢秀（市民クラブ）

質問　新設する豊岡新駅（仮称）に隣接する御堂踏切の安全対策は。また、ボックスカルバートによるアンダーパス設置の可能性は。

答弁　御堂踏切については、新駅の整備に併せて十分な幅員を確保し、安全対策として歩行者と車両の分離を図る。なお新駅の供用開始後、踏切の鳴動時間は今までよりも長くなる。アンダーパスの設置については、設置費用や降雨時の安全対策など、現時点では多くの課題があると認識している。

質問　豊岡新駅（仮称）駅前広場への公共交通の乗り入れ予定は。また駅利用者を増やすための取り組みは。

答弁　公共交通は新駅の利便性向上のための重要な手段だと認識しており、今後事業者と協議を進めていきたい。利用者を増やす取り組みについては、パークアンドライド駐車場の設置のほか、新たに整備する豊岡経大通り線を活用した学生の利用促進など、さまざまな角度から研究したい。

まめ知識
- **●カスタマーハラスメント**　消費者や顧客という立場の優位性を盾に、企業等に対して悪質な要求や理不尽なクレームを行う行為のこと。
- **●口腔用液ブコラム**　てんかん重積状態の発作を止める効果が期待できる薬。

子育て支援
交通問題諸課題

堀口 順（市民クラブ）

質問　放課後児童クラブの現状と支援員の状況は。また、児童の早朝預かりについて、本市の考えは。

答弁　本市では、小学校児童の約23％が放課後児童クラブを利用している。支援員は1クラブに平均五、六人程度で、うち認定資格を持つ支援員が二、三人程度配置されている。また、支援員に対する処遇改善の実施により、安定的な人材確保を図っている。児童の早朝預かりについては、児童福祉法により、支援員の勤務条件を平日の放課後からとしている状況もあるため、国や他自治体の動向等を踏まえて研究したい。

質問　高崎駅東口の渋滞緩和についての取り組みは。

答弁　駅東口周辺は、通勤、通学の送迎車両が集中する朝夕や、週末に交通渋滞が発生している。本市では、渋滞緩和の取り組みとして看板による注意喚起を行っているほか、特に混雑する時間帯に交通誘導員を試験的に配置する予定である。

堤ヶ岡飛行場跡地の活用

青木 和也（新風会）

質問　堤ヶ岡飛行場跡地のまちづくりのイメージは。

答弁　本年3月に行った市長と県知事の合同記者会見において「先端情報技術を有する企業等が集積する地域」「DXを活用した地域」「再生可能エネルギーを活用したサステナブルな地域」というコンセプトを発表した。今後、本市の経済を発展させるには、これらを組み合わせたデジタル化が重要な要素であるため、単なる企業の立地だけでなく、地域住民の移動の利便性や暮らしを向上させるような、先進的なまちづくりに取り組んでいきたい。

質問　飛行場跡地の活用について、今後の進め方は。

答弁　今後策定する基本構想を基に、さまざまな事例を研究し、活用の前提条件となる市街化区域への編入に向け、国や関係機関と協議を進めていく。協議に当たっては、県と協力しながら丁寧に課題を解決し、日本で最先端のまちづくりが行えるよう努力したい。

さらに詳しい内容は会議録で

市議会ホームページ（会議録検索）や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。
今回の本会議については8月下旬に公開予定です。

- 市民情報センター（市役所1階）
- 高崎市立図書館（中央館及び地域館）
- 倉渕公民館図書室

各会派の構成

「会派」とは、同じ理念や考え方を持った議員同士のグループで、3人以上で交渉会派となります。所属する議員数に応じて、各派代表者会議や議会運営委員会などのメンバーが選出されます。

◆新風会（19人）

会長	柴田和正
副会長	石川徹
幹事長	白石隆夫
副幹事長	樋口哲郎
政調会長	根岸赴夫
議会対策	後藤彰
会計	大河原吉明
広報	松本賢一
会計監査	後閑賢二
顧問	丸山和久
会員	柄沢高男
〃	大竹隆一
〃	長壁真樹
〃	渡辺幹治
〃	青柳隆
〃	時田裕之
〃	青木和也
〃	高橋淳
〃	渡辺隆宏

◆市民クラブ（6人）

会長	高橋美奈雄
副会長	堀口順
幹事長	林恒徳
副幹事長	中島輝男
政調会長	三井暢秀
会計	横田卓也

◆公明党（5人）

会長	丸山覚
幹事長	新保克佳
政調会長	小野聡子
会計	中村さと美
顧問	逆瀬川義久

◆たかさき未来（3人）

会長	三島久美子
幹事長	荒木征二
会計	宮原田綾香

◆日本共産党高崎市議会議員団（2人）

団長	伊藤敦博
副団長	金子和幸

◆無所属
- 谷川留美子
- 角倉邦良
- 新倉哲郎

（令和5年7月18日現在）

まめ知識
- **●ボックスカルバート**（P8参照）　主に地中に埋設され、水路や道路、通信線の収容などに使われる箱型のコンクリート構造物。
- **●パークアンドライド**（P8参照）　自宅から自家用車で最寄りの駅や停留所まで行って駐車し、公共交通機関に乗り換えて目的地まで移動する方法。公共交通の利用促進や交通渋滞の緩和にもつながる。